



IAUD Newsletter vol.13 第 11 号(2021 年 2 月号)

- 1. IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介①.....1
- 2. オンライン第 4 回 UD 検定・初級開催のご案内.....7
- 3. IAUD2 月の予定.....7



革新的な UD 活動を国際的に表彰

IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介①

持続的な共生社会の実現に向けた UD 活動を国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2020」が行われ、世界 14 개국 67 件のエントリーの中から「大賞」1 件、「金賞」9 件、「銀賞」19 件、「銅賞」35 件が選定されました。

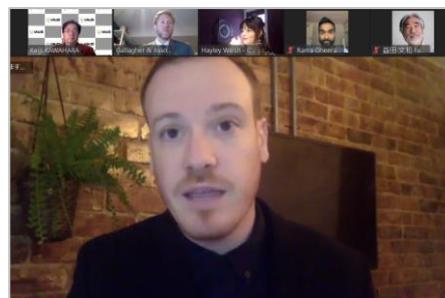
受賞結果は、2020 年 12 月 18 日(金)にオンライン開催された「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション／表彰式」で発表され、表彰状授与及び受賞者によるプレゼンテーションが行われました。

IAUD Newsletter では、今号より大賞と金賞の取り組みを順次ご紹介します。

第 1 回目は、大賞を受賞した英国 Centre Screen Ltd/米国 Gallagher & Associates の「United States Olympic & Paralympic Museum」です。

ロジャー・コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)は「United States Olympic & Paralympic Museum」について、「すべての人のための博物館の素晴らしい実例。すべての訪問者を平等に扱うことによってインクルーシヴデザインの原則を完全に具体化している、デザインパートナーの共同作業による傑作」と、高く評価しました。

今号の IAUD Newsletter では、「United States Olympic & Paralympic Museum」の取り組みを Centre Screen Ltd の Dan Cooper 氏に紹介していただきます。



オンライン開催された表彰式でコメントする Cooper 氏



コールマン審査委員長

なお、「IAUD 国際デザイン賞 2020」では、各受賞に関係の深い SDGs(国連の持続可能な開発目標)の項目番号を表示しています。UD の基本理念である包括性(inclusivity)は、「誰一人取り残さない」という SDGs の原則と一致しており、UD と SDGs が連動していることをより分かりやすくするためです。



SDGs(国連の持続可能な開発目標)17 項目

※「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション／表彰式」開催速報は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション／表彰式」開催報告を掲載した IAUD Newsletter vol.13 第 10 号は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020」受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020」審査講評は[こちら](#)をご覧ください。



IAUD 国際デザイン賞 2020 大賞を受賞した United States Olympic & Paralympic Museum 館内の様子

オリンピックとパラリンピックを同等に賞賛

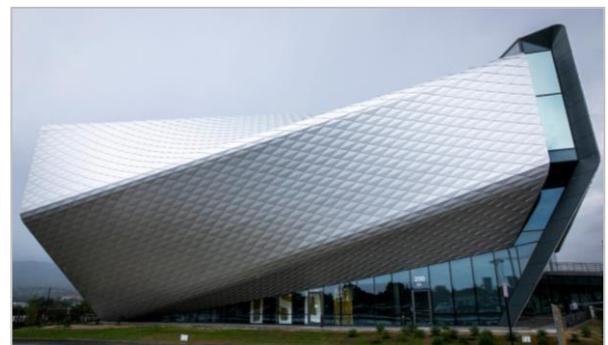
米国はスポーツを通じて世界平和を目指す「オリンピック・パラリンピックムーヴメント」の中心的存在です。長年にわたり、パラリンピック競技と選手の発展のために投資と支援に尽力してきました。

そして2020年7月、米国オリンピック・パラリンピックトレーニングセンターのあるコロラド州コロラドスプリングス市に、「United States Olympic & Paralympic Museum (USOPM、米国オリンピック&パラリンピック博物館)」が開館しました。

USOPMはその名称どおり、オリンピックとパラリンピックの功績を同等に称える米国初の博物館です。オリンピック・パラリンピックの歴史を共有し、選手の業績を尊重しています。

館内全体にUDを徹底しており、様々なデジタルメディアや体験展示を通じて、来館者はインクルーシヴ体験ができるようになっています。トレーニングし競技し優勝した選手の視点から世界最高レベルのスポーツの激しさを理解し、すべての選手が共有する献身や目的意識、犠牲に対する認識を変えることになるでしょう。

そして、誰もが自分の「オリンピックサイズ」の希望と夢を見つけ、努力し実現できるよう支援しています。



選手の超越したパフォーマンスからインスピレーションを得た外観デザイン

米国代表チーム選手がプロジェクト全体に関与

USOPM は構想段階から完成まで一貫して、スポーツとオリンピック・パラリンピックの価値観の促進に尽力してきました。

プロジェクトの核となり、12 あるテーマ別インタラクティブ(双方向性)ギャラリーに織り込まれている信念は、オリンピック憲章(2019年6月施行)にある「スポーツの実践は人権の1つ。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、相互理解、友情、連帯、フェアプレーの精神とともにスポーツをする機会を与えられなければならない」というものです。

USOPM は ADA(障害を持つアメリカ人法)に準拠しており、来館者の身体能力や認知障害に関係なく、すべての人が同じように素晴らしい体験ができるようデザインされています。

USOPM は米国 Gallagher & Associates が展示及び体験のデザイナー担当、英国 Centre Screen がデジタルコンテンツ制作担当となり、両社は完成まで緊密に協力しました。

また、米国代表チームの選手もプロジェクト全体に関与しており、ユーザーテストに参加し提案してきました。

館内全体に UD 原則を実践

USOPM 建設にあたり、「すべての来館者が平等に楽しみ、学び、参加できるにはどうしたらいいか」「誰もがインクルーシヴ体験ができるために、デジタルメディアをどうデザインしたらいいか」という課題がありました。

これらを解決するため、我々はまず館内全体にインクルーシヴデザインを取り入れました。ロン・メイスが提唱した UD の原則「適応や特別なデザインを必要とせず、可能な限りすべての人が使用できるような製品と環境のデザイン」を実践したのです。

来館者すべてが展示体験に参加できるよう、台本から撮影、インターフェース、セットワークに至るまですべてのメディア要素をデザインしました。これには、年齢、体格、視覚障害や聴覚障害、脳障害への適応も含まれます。

次に、一人ひとりのニーズや好みに合わせたコンテンツの提供を実現しました。入館する際、来館者全員は視覚障害者向けの音声ガイドや大きなフォント、高いコントラスト、好みのスポーツなど、見学に必要なサービスやアクセシビリティを選択します。この情報はデジタル指紋となり、個人の RFID(近距離無線を用いた自動認識技術)プロフィールに反映され、各ギャラリーのモニターや没入型大規模映像、オーディオスピーカーなど、来館者が遭遇するあらゆるインターフェイスに即座に認識されます。

そのため、USOPM 来館者のニーズや好みに対応する革新的なユーザー認識インターフェイスを通じて、最先端のオーダーメイド体験を提供しています。



RFID 登録ユーザーテストの様子

徹底したユーザーテストを経て導入した工夫

我々は常に多様で徹底したユーザーテストからのフィードバックを取り入れ、デザインを進化させコンテンツを変更してきました。

館内に階段はなく、どこでも車椅子でアクセスできます。すべての画像コンテンツとインタラクティブメディアには字幕と ASL (アメリカ手話)が再生され、補助リスニングも使用できます。

床に設置された触覚フロアストリップは、視覚障害者を各展示に誘導します。入館登録時に音声ガイドを選択した場合、各ギャラリーに入ると触覚フロアストリップにより RFID プロファイルが認識され、スピーカーを通して自動的に音声ガイドが再生されます。

利用者の操作方法や画面の向き、サイズがどうであれ、視覚的にも意味的にも一貫した UI(ユーザーインターフェース)言語を作成しました。

様々な形状やサイズ、高さのスクリーンでも常に誰にでもコンテンツが見えるよう、位置と視線に考慮してデザインされています。

音や光、触覚などに敏感な感覚過敏の来館者には、必要に応じて展示をトーンダウンした内容に変換できます。

また、スクリーンリーダーと音声ガイドを使用して、いつでもコントラスト比やフォントサイズなどアクセシビリティ設定の追加変更ができます。

世界最高レベルのアクセシビリティとインクルージョン

USOPM は世界最高レベルのアクセシビリティとインクルージョンのある空間になっています。

入館すると、全エリアへアクセス可能な ID パスを受け取ります。ID パスには前述した RFID 機能が備わっており、選択したサービスやアクセシビリティを登録することで、その後の見学や移動が容易で充実したものになります。

まずは、エレベーターで最上階にあるアトリウム「ピーク」に向かいます。らせん状にデザインされた空間には、オリンピック・パラリンピックの競技やトレーニングの歴史が展示されています。



最上階にあるアトリウム「ピーク」

そこからゆるやかに傾斜した通路を下って、12 のギャラリーがあるメインフロアへと向かいます。特に決められた順路はありません。選択した好きなスポーツを中心に閲覧することもできます。

約 5600 m²もの館内には、メダルやトーチなど 450 点もの記念品や文書、選手を称える 40 以上の動画やインスタレーション(場所や空間全体を作品として表現したもの)が展示されています。

すべての来館者はあらゆる展示体験に参加できます。RFID プロファイルのインタラクティブ機能により、各自のニーズやアクセシビリティ要件が自動的に適応され、最適な体験をシームレスに提供します。

また、同館にはこれまで米国代表チームが輩出してきた最高峰の選手やコーチたちを称える「米国オリンピック殿堂」も収容されています。

すべての人が同じように体験できるギャラリー

・トレーニングギャラリー: アスリート直伝による各種スポーツのトレーニングに参加しながら、インタラクティブ機能を通じてスピード、敏捷性、強さ、持久力などがテストされます。

・アーチェリー: 米国パラリンピック選手による試作とユーザーテストを繰り返した結果、利用者は狙いを定める技術を磨くことができます。弓は高さ調節が可能で、音声でターゲットの相対的な位置を知らせます。



アーチェリーのパラリンピック選手によるユーザーテスト(左写真2枚)の様子と完成したトレーニングギャラリー

- ・スキー:ポールは高さ調節可能で、2セットのうち1つは幅が広く、車椅子のままでも利用できます。
- ・スケルトン:直立したそりは高さ調節可能で、身を乗り出すか両サイドに寄り掛かってトラックを操縦します。
- ・ゴールボール:目隠しをしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点とする反応時間が重要なパラリンピック競技です。音に反応する利用者の骨格の動きから、反応時間をテストします。



左からトレーニングギャラリーのスキー、スケルトン、ゴールボール

- ・Ask the Athlete ギャラリー:オリンピッククロスカントリー金メダル選手 Kikkan Randall 氏とパラリンピックバスケットボール金メダル選手 Matt Scott 氏に質問できるギャラリーです。利用者は赤いボタンを押してマイクを作動させるか、触覚キーボードで質問を入力します。選手の情報、小型のタッチスクリーンにも表示されます。
- ・The Games Timeline ギャラリー:歴史的な競技や試合を時系列で表示しているギャラリーです。見たい画像をシンプルなボタンを操作して選択します。



Ask the Athlete ギャラリー(左写真2枚)と The Games Timeline ギャラリー

・The Lab ギャラリー: エリート選手が限界に挑戦する補助となる最先端スポーツ科学技術について説明しているギャラリーです。透明な OLED(有機発光ダイオード)画面に、三次元ヒーローのスポーツ用具(競技用車椅子、義足、スピードスーツ、ランニングシューズ)に関する動画が再生されます。



The Lab ギャラリー

・夏季スポーツ、冬季スポーツギャラリー: インタラクティブな壁には、各スポーツの概要や競技の瞬間、選手やその家族、コーチに関する動画が再生されます。

そして、オリンピック・パラリンピックに影響されたポップカルチャーからメダルセレモニーまで、オリンピック・パラリンピックがいかに私たちの文化やコミュニティに影響を与え、世界共通のスポーツという言葉を通じて私たちを結びつけたかを理解します。



夏季スポーツ(左写真)と冬季スポーツのギャラリー

よりインタラクティブな博物館へ

我々にとって USOPM のインタラクティブ体験をデザインすることは、長く、魅力的で、やりがいのあるプロセスでした

これまで来館者から、様々なインタラクティブ体験を通じて実感するインクルージョンや選手の卓越した能力、またパラリンピック選手のチーム内での存在などについて頻繁に感想が寄せられています。

我々は今後も来館者のフィードバックに沿い、より多くの人々のニーズを最も満たす方法を探求していきます。そして、技術と人間の習慣が変化するにつれて、提供するインタラクティブ体験の内容も進化させ続けたいと考えています。



受賞式での大賞受賞プレゼンテーションの様子



在宅で好きな時に UD 資格習得 オンライン第 4 回 UD 検定・初級開催のご案内

IAUD は 4 回目となる「オンライン UD 検定・初級」を申し込み受付中です。

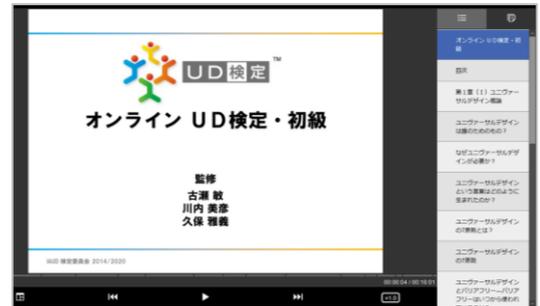
「オンライン UD 検定・初級」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30分・50問)のセットです。

実施期間中であれば、時間・場所を問わず講習から検定試験までを受けることができます。

問題はすべてオンラインで受講した講習内容から出題され、合否は検定試験終了後すぐに判定されます。

合格者には「UD 検定・初級 認定証」を発行します。名刺への記載も可能です。

申し込み受付は 2 月 11 日(祝・木曜日)までです。この機会に是非、ご参加ください。



「オンライン UD 検定・初級」講習画面

※「オンライン第 4 回 UD 検定・初級」詳細・申し込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・初級」開催報告を掲載した Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 2021 年 2 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
1 15:00~ UD+PJ オンライン会合	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日 オンライン第 4 回 UD 検定・初級 申込締切	12	13	14
15	16	17	18 15:00~ UD+PJ オンライン会合	19	20	21
22	23 オンライン第 2 回 UD 検定・中級 応募開始	24	25 14:50~ 衣の UDPJ オンライン会合	26	27	28

※新型コロナウイルス対策のため政府より不要不急の外出の自粛が要請されていることを受け、IAUD では研究部会等の行事開催を見合わせ、一部はオンラインで実施しております。

次号は 3 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介②ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
事務局:〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net